

平成29年度シラバス（美術）

学番 78 新潟県立海洋高等学校

1 学習目標 2 指導の重点 3 学習計画

教科（科目）	芸術（美術Ⅰ）	単位数	2単位	学年（コース）	1学年（芸術選択）
使用教科書	Art and You 創造の世界へ（日本文教出版株式会社図書）				
副教材等	なし				

- (1) 楽しく美術の活動に取組、美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を創造していく意欲と態度を育てる。
 (2) 対象を見つめ感じ取る力や想像力を高め、豊かに発想し構想する能力や形や色彩などによる表現の技能を身に付け、意図に応じて創意工夫し美しく表現する能力を育てる。
 (3) 自然の造形や美術作品などについての基礎的な理解や見方を広げ、美術文化に対する関心を高め、よさや美しさなどを味わう鑑賞の能力を育てる。実作を通じ、知識や表現能力を身に付けることにより、美術や美術作品に対する親しみ、興味・関心を高める。

- ・表現の源となるイメージをしっかりと持たせる。その為に十分な資料や作例を準備し、発想、構想の足がかりとする。
- ・自己の能力や使用する材料、用具等の特性を考慮し、無理なく、効果的な表現ができるようにする。
- ・材料、用具の正しい使用法を学び、安全かつ能率的に制作できるようにする。

月	単元名	教材	学習活動（指導内容）	時間	評価方法
4 5	描画（石膏デッサン、鉛筆デッサン）	鉛筆による石膏デッサン”画材としての鉛筆”	・デッサンにおける正しい鉛筆の使用法を理解し、身に付ける。 ・形態認識能力を高め、観察→描写技術の基礎を身に付ける。	12	作品 授業への取組
6 7	木彫り（スプーン製作）	エキソース ----- 彫刻→仕上げ	・自分なりに図案を考える。 ・無理のないシンプルで効果的なデザインに心がける。 ・安全で失敗のない彫刻刀の使用法を学び、身に付ける。	8 6	
9 10 11	パッケージデザイン（グラフィックデザイン）	アイデアスケッチ”伝わるデザイン” ----- モデリング→プレゼンテーション 鑑賞	・様々な商品のパッケージを観察し、”伝わるデザイン”について知る。 ・商品のかたちに仕上げ、デザインの効果について思考し、デザインが、形になる喜びを味わう。	8 12	
12 1 2 3	伝統工芸（大漁旗をつくる）	アイデアスケッチ 染色→仕上げ→鑑賞	・伝統的な染色技法について知り、伝統工芸について関心を持つ。 ・基本的な染色技法を身に付ける。	18	

計64時間（55分授業）

4 課題・提出物 5 評価規準と評価方法

それぞれの学習活動ごとに作品提出を指示します。

評価は次の4観点から行います。

美術への 関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
美術の創造的活動の喜びを味わい、美術や美術文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取組もうとしている。	感性や想像力を働かせて、主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。	創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、表現方法を工夫して表している。	美術や美術文化を幅広く理解し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。

以上の観点を踏まえ

- 学習状況（制作への取組、準備、後片づけ、提出状況）
 - 制作過程（アイデアスケッチ、表現上の工夫、変更事項）
 - 完成された作品
- などから、総合的に判断します。

6 担当者からの一言

この科目では美術の基本的な技能、観察力、構成力、発想力を養うことを目標とします。また、作品ができ上がったら、仲間同士で鑑賞し合い、他の人のアイデア、思い、考えを学んでいきましょう。

（担当：大平 葵）